

旧統一教会との関係と選挙結果の分析

－ 2 0 2 1 年度衆議院議員総選挙 －

竹内明日香 （拓殖大学 政経学部 法律政治学科 4 年）

藤江咲妃 （拓殖大学 政経学部 法律政治学科 4 年）

《 目 次 》

1. はじめに	- 4 -
2. 仮説	- 5 -
3. データ	- 6 -
4. 分析結果	- 9 -
5. 結論と今後の展望	- 12 -

《要約》

本論文では、2021 年度第 49 回衆議院議員総選挙において、旧統一教会と「関係があった」とされる候補者が実際により多く得票したかどうかを分析している。安倍元首相が銃撃される事件をきっかけとして、旧統一教会と議員との癒着が次々と明らかにされたが、旧統一教会との関係をもったとされる候補者は、そうでない候補者と比べて選挙で優位だったのか？ここでは、当選回数、現職、年齢、政党などの要因を考慮して分析を行った結果、旧統一教会と関係があったとされる候補者のほうが、総選挙でより多くの票を獲得しているという結果が得られた。

1. はじめに

2022 年 7 月 8 日、安倍元首相が銃撃されるという前代未聞の事件が起きた。この事件をきっかけに旧統一教会と政治家との癒着についての報道がマスメディアによって激化している。図 1 は、旧統一教会と関係をもったと言われる議員数を政党ごとに分類した棒グラフである。自民党の候補者 277 名中 78 名が旧統一教会と関係があるとされ、政党の中で最も旧統一教会と関係をもった議員が多い。また、自民党の他に旧統一教会と深いかかわりをもつ議員がいると言われる 4 つの政党¹と無所属の候補者を含めると第 49 回衆議院議員総選挙に立候補した 857 名のうち計 100 名が関係をもっていた。

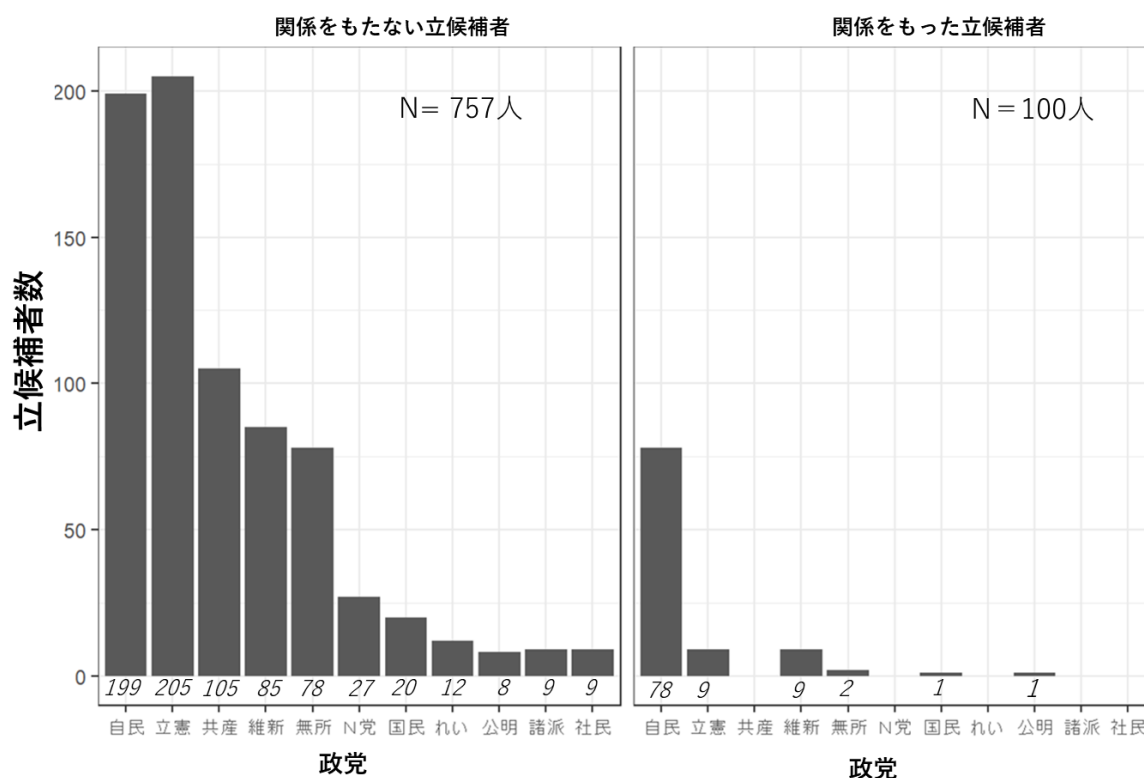


図 1：旧統一教会と関係をもった候補者の棒グラフ

本論文では、旧統一教会と関係をもったことが候補者の得票率にどのような影響を与えているのかを実証的に分析することを目的とする。ある候補者が関係をもったかどうかを判断する根拠として、自民党の茂木敏充幹事長が公開した党所属国会議員名簿と、東京新聞、毎日新聞に掲載された資料を使

っている。また、自民党以外の政党で旧統一教会と深いかかわりをもつ候補者に関しては、各幹事長、選挙政策委員長、国会対策委員長が公表した調査結果データを用いている²。

分析の結果、旧統一教会と関係があるとされた候補者は第 49 回衆議院議員総選挙においてより多く得票しているという結果が得られた。また「当選回数」が 0 回から 5 回までの立候補者は旧統一教会と関係があることが得票率に影響を与えているが、6 回以上の立候補者は旧統一教会と関係することが得票率に影響を与えないことがわかった。

本論文の構成は以下の通りである。第 2 節では仮説とその理論を提示する。第 3 節では使用したデータを提示し、第 4 節では分析の結果を記述する。第 5 節では本論文の結論と今後の展望について述べる。

2. 仮説

本論文で検証する仮説は次のとおりである。

仮説 1：旧統一教会と関係をもつ立候補者と得票率の間には正の相関があるはずだ

NHK 政治マガジン³では、限定的ではあるが旧統一教会と関係をもつことによって特定の候補者に票が流れていたことや、選挙ボランティア活動等で無償で協力を受けた政治家がいたことを指摘している。ここでは公開された議員リストより「関係をもった議員」を「会合に出席した議員」、「選挙ボランティア支援を受けた議員」、「寄付を受けた議員」と定義する。もしこの主張がその通りだとするならば、旧統一教会と関係をもった立候補者と得票率の間には正の相関があるはずである。

仮説 2：当選回数が少ない候補者ほど、旧統一教会と関係をもつことは得票率により大きな正の影響を与えるはずである

当選回数が少ない候補者は知名度が低く、当選回数が多い候補者と比べると当選へのハードルが高くなると考えられる。当選回数を重ねたベテランの

政治家達と比較すると、当選回数が少ない候補者の方がポスター貼りや街頭演説でのビラ配りなどの選挙活動支援がより重要になるため、旧統一教会の協力は有利に働くはずである。

3. データ

従属変数：得票率

ここで説明したいのは「旧統一教会と関係をもったとされる候補者が選挙でどれだけの票を得たか」ということであり、これを検証するためには「得票数」と「得票率」の両方を使うことが可能である。選挙区ごとに一票の重みに差が生じる可能性があり判断の公平性を保つため、ここでは「得票数」ではなく「得票率」を従属変数として使う。

主要な独立変数：旧統一教会との関係

従属変数を説明するのが「説明変数」である。ここでは説明変数として「旧統一教会との関係の有無」を想定し、旧統一教会との関係をもつとされる候補者の方が、そうでない候補者と比較するとより多くの票を獲得すると想定している。具体的には 2022 年 9 月 8 日に茂木自民党幹事長が公開した旧統一教会と関係をもったとされる議員名簿、並びに東京新聞と毎日新聞に掲載された議員名簿を用いる。自民党以外に旧統一教会と深いかわりをもったとされる 4 つの政党と無所属候補者については、各政党の幹事長、選挙政策委員長、そして国家対策委員長が公開した調査結果データを使う。

議員が選挙でどれだけの票を得たかということに影響を与えていると思われる要因としては、まず「立候補者数」が考えられる。立候補者数が多ければ、それだけ票が割れるため、得票率は小さくなるはずである。2 つ目の要因として「当選回数」が考えられる。当選回数を重ねた候補者ほど、支持基盤が盤石になり、それだけ得票率も高いはずである。3 つ目の要因は「現職か否か」である。現職であれば知名度や地盤があるため、非現職と比較して得票率は高いはずである。4 つ目の要因は「年齢」である。経験を重ねた候

補者の方が知名度や地盤が堅固なので得票率が高いはずである。5つ目の要因は「各政党ダミー」で、所属政党の候補者であれば1、それ以外を0と定義している。この変数をモデルに含めた理由は、候補者が所属する政党次第で得票率に差が生じると考えたためである。例えば、無所属と自民党所属候補者を比べた時、政権与党の自民党候補者の方が得票率が高いと考えられる。本論文では選挙前までの各立候補者の知名度や実績に関する変数として、上記5つのコントロール変数をモデルに含める。

表1は本論文で使用したデータの特徴を示す記述統計⁴である。

変数名	観測数	平均値	最小値	最大値
旧統一教会	857	0.12	0	1
立候補者数	857	3.26	2	7
当選回数	857	2.16	0	17
年齢	857	54.49	25	86
現職	857	0.60	0	2
得票率	857	33.72	0.49	84.07
公明党ダミー	857	0.01	0	1
立憲民主党ダミー	857	0.25	0	1
日本維新の会ダミー	857	0.11	0	1
共産党ダミー	857	0.12	0	1
国民民主党ダミー	857	0.02	0	1
自民党ダミー	857	0.32	0	1
N党ダミー	857	0.03	0	1
れいわ党ダミー	857	0.01	0	1
社会民主党ダミー	857	0.01	0	1
諸派ダミー	857	0.01	0	1

表 1：記述統計

左から変数名、観測数（人）、平均値、最小値、最大値を表している。観測数は857で、ここで分析対象となる議員は合計で857人の代議士ということになる。「旧統一教会」では、旧統一教会と関係をもつ候補者の場合は1、関係がない候補者の場合には0という値を割り振っているため、最小値は0で最大値は1となっている。また、平均値0.12という数値が示しているのは、

857 人の代議士中 12%に相当する 100 人が旧統一教会と関係をもっていたということである。説明したい変数（＝従属変数）である「得票率」は最小値が約 0.5%、最大値が約 84%であることを示しており、立候補者全体の得票率の平均が約 34%であることがわかる。「各政党ダミー⁵」では、「旧統一教会」と同様に、候補者がその政党に所属している場合は 1、所属していない場合には 0 という値を割り振っているため、最小値は 0 で最大値は 1 となっている。また、「自民党」の平均値 0.32 という数値が示しているのは、全代議士の中で 32%が自民党所属議員であることを示している。

図 2 は横軸を候補者の旧統一教会との関係（関係がある場合は 1、関係がない場合は 0）、縦軸を「得票率」とした散布図である。本来、横軸の 0 と 1 の縦線には一直線に点が並ぶのだが、ここでは便宜上、左右にデータを散らして見やすく調整している。

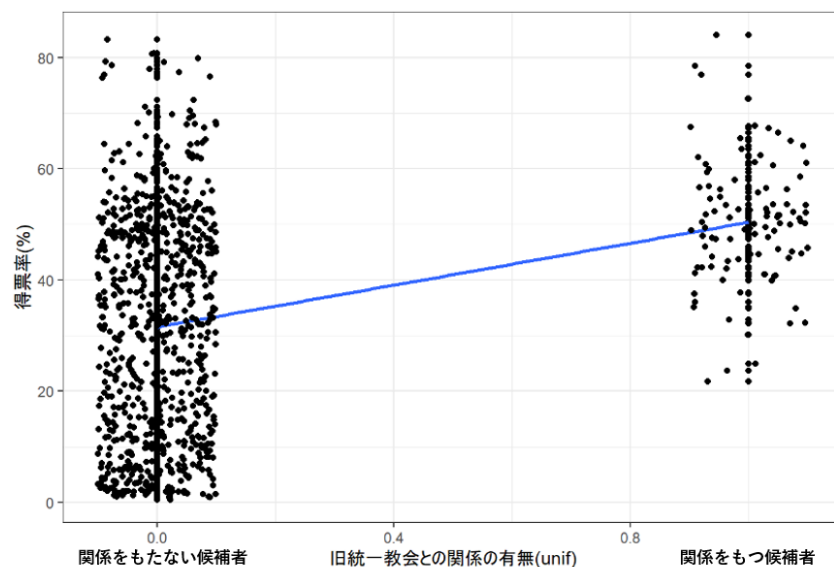


図 2： 旧統一教会との「関係の有無」と「得票率」の関係

図 2 より予想通り、「旧統一教会との関係の有無」と「得票率」の間には正の相関が認められ、旧統一教会と関係をもっていた議員は、関係をもたなかった議員に比べて得票率が高いことが分かる。

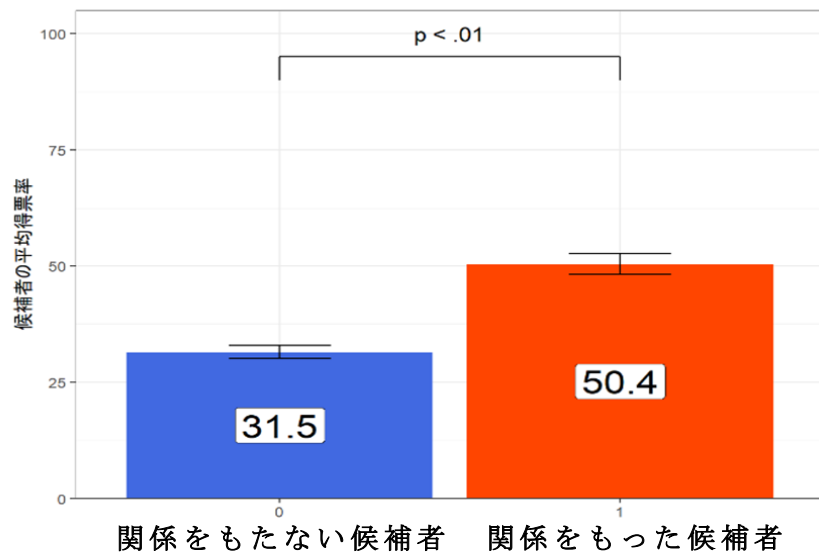


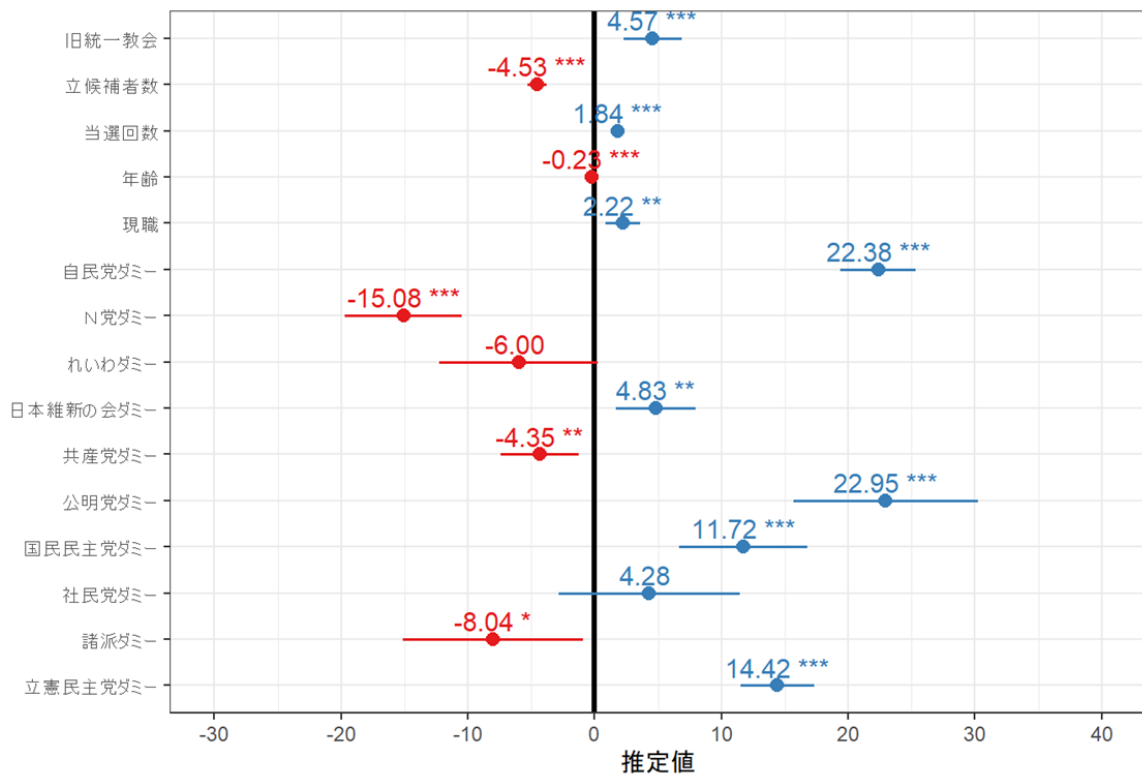
図 3 : t 検定の可視化

図 3 は、「旧統一教会と関係をもたなかった候補者と関係をもった候補者の得票率に差はあるのか」を分析した結果である。旧統一教会と関係をもたない候補者の得票率の平均（31.5%）と関係をもつ候補者の得票率の平均（50.4%）の差は約 19%である。この結果は、 $p < 0.1$ の表記より p 値が 0.05 より小さいため 5%で統計的に有意であり、両者間の得票率の平均値には差があることがわかる。

しかし、候補者の「得票率」が「旧統一教会と関係をもったか否か」という要因だけでは決まるとは考えられないため、上で紹介した選挙区の立候補者数や候補者の年齢や当選回数などの要因を統制変数（コントロール変数）としてモデルに含めて重回帰分析を行った。

4. 分析結果

図 4 はコントロール変数を含めた重回帰分析の結果である。ここでは三つの異なるモデルを推定したが、図 4 はモデル 2 の分析結果を示している（三つのモデルの分析結果の詳細は Appendix を参照）。



注 1：ドット「●」は各変数の推定値で、横線は 95%信頼区間を表している。信頼区間を表す横線が短いほうが推定値の信頼性が高い。また、横線が 0 を表す縦の黒線に触れていない場合は統計的に有意だが、触れている場合は統計的に有意ではないということを示している。

注 2：アステリクスは統計的有意性を示す。

***：1%で統計的に有意、**：5%で統計的に有意、*：10%で統計的に有意

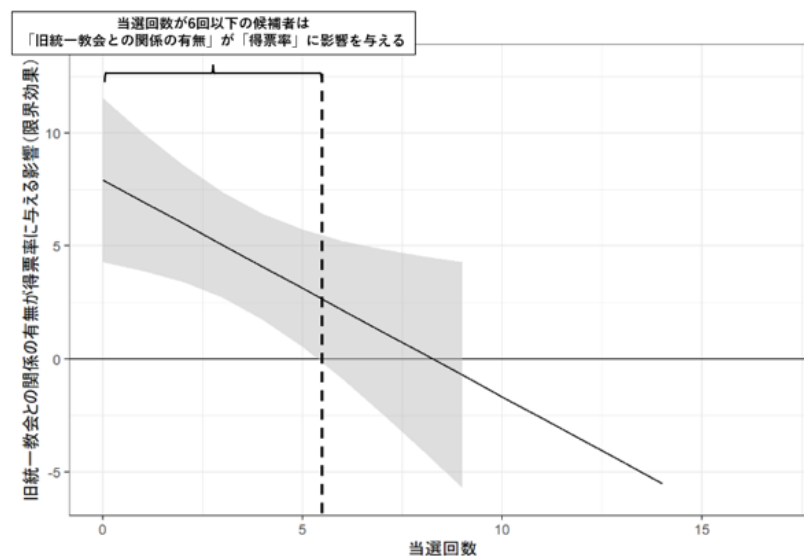
図 4：旧統一教会との関係と得票率の重回帰分析結果

図 4 を見ると、旧統一教会と関係をもっていた候補者は、得票率が約 4.6 パーセンテージ・ポイント（これ以降%ポイントと表記）上がることが分かる。候補者個人の特性や選挙区の特性、そして各政党の特性などを考慮して回帰分析した結果、旧統一教会と関係をもっていた候補者は、そうでない候補者と比べると、より高い得票率を得ていたことになる。

コントロール変数に関しては、候補者数が 1 人増えると得票率が約 4.5%ポイント減少し、当選回数が 1 回増えると得票率は約 1.8%ポイント上がることが示されている。候補者の年齢が 1 歳上がると得票率が約 0.23%ポイント下がり、候補者が現職なら得票率が約 2.2%ポイント上がるという結果も私たちの常識と一致する結果だといえる。

仮説 2 において、当選回数が多い候補者と比べると、当選回数が少ない候補者は旧統一教会と関係が得票率により大きな正の影響を与えるはずだと仮説を立てた。当選回数を重ねたベテランの政治家達と比較すると、当選回数の少ない候補者にとって、旧統一教会から得られるポスター貼りや街頭演説でのビラ配りなど無償の選挙協力はありがたいと思うだろうし、実際に得票に結びつくと考えられる。

図 5 は候補者が旧統一教会と関係をもつことと得票率との関係を当選回数ごとに示した図である（分析結果の詳細は Appendix 表 2 の Model 3 を参照）。



注：直線の周りには 95% の信頼区間が灰色で示されており、限界効果 0 の横線にふれている箇所は統計的に有意ではないことを表している

図 5 : 「旧統一教会との関係の有無」と「得票率」の関係：当選回数ごと

横軸は「当選回数」、縦軸は「旧統一教会との関係が得票率に与える影響」（＝限界効果）を示している。当初の想定どおり、当選回数が少ない 0 ～ 5 回までの候補者は旧統一教会と関係をもつことが「得票率」に影響を大きな与えているが、当選回数が増えるにつれて、その影響は次第に右肩下がりに減少していることがわかる。当選回数が 5 回を超える候補者にとって、旧統一教会と関係をもつことはむしろマイナスの影響を与える傾向にあることがわ

かる。つまり、当選回数が少ない候補者ほど、旧統一教会と関係をもち、無償の選挙協力を受けることで、より多くの得票率を得ていることが明らかになったということになる。

5. 結論と今後の展望

本論文では、2021年度衆議院議員総選挙において旧統一教会と「関係をもつ」候補者と「得票率」の間には関係があるはず、という仮説の実証分析を試みた。候補者の「得票率」は旧統一教会とのつながりだけで決まるとは考えられないため、「立候補者数」「当選回数」「現職」「年齢」そして「政党ダミー」等のコントロール変数を推定モデルに含めて重回帰分析を行った結果、図2に示したように、旧統一教会と「関係をもつ」候補者と「得票率」の間には正の相関があるという結果が得られた。さらに候補者が旧統一教会と関係をもつことと得票率との関係を「当選回数」という観点から分析したところ、図5に示したように、当選回数が少ない候補者ほど、旧統一教会と関係をもっていることが得票率により大きく影響することがわかった。

マスメディアでは、旧統一教会と政治家の関係について様々な報道が行われているが、政治家が旧統一教会と関係を持つことが政治家にとってどのような具体的な影響をもたらしたのかという報道は極めて少ないように思われる。この点に関して、本論ではひとつのエビデンスを提供し貢献することができたのではないかとと思われる。今後、一つの政党に焦点を当てて分析を行うことで、旧統一教会と政治家の関係についてさらに踏み込んだ精緻な分析が可能になると考える。そして、政治と宗教の関係を透明化させ、政治家はどのような宗教団体からどのような支援を受けているのか、また宗教団体もなぜその候補者を支援するのかを公表し、選挙において有権者はそれを判断材料として投票できる形が望ましいのではないかと考える。

参考文献

1. 自民党、旧統一教会と接点ある国会議員は 179 人 うち 121 人を公表 選挙支援の依頼は 2 人. 東京新聞. 2022-09-08, 東京新聞 TOKYO Web, <https://www.tokyo-np.co.jp/article/200852>, (参照 2022-10-01)
2. 自民、12 人から追加報告 旧統一教会問題. 毎日新聞. 2022-09-30, 毎日新聞デジタル, <https://mainichi.jp/articles/20220930/k00/00m/010/023000c>, (参照 2022-10-01)
3. 公明 2 幹部、過去に旧統一教会系月刊誌の取材に応じる「認識なく」. 朝日新聞. 2022-08-19, 朝日新聞デジタル, <https://www.asahi.com/articles/ASQ8M72M6Q8MUTFK011.html>, (参照 2022-11-03)
4. 国民玉木氏、2016 年に旧統一教会の友好団体元社長から寄付 3 万円. 朝日新聞. 2022-07-19, 朝日新聞デジタル, <https://www.asahi.com/articles/ASQ7M65TBQ7MUTIL02G.html>, (参照 2022-11-03)
5. 立憲の 14 議員が旧統一教会と接点、岡田氏・枝野氏・安住氏ら 調査結果を公表（一覧）. Business Insider Japan. 2022-08-24, Business Insider Japan, <https://news.yahoo.co.jp/articles/059a9a22ed2bb3eee586e04369165eb32c247576>, (参照 2022-11-03)
6. 日本維新の会「旧統一教会と関係があった 13 議員公表」に「スタートとしては良かった」の声…ひろゆきも「反省するのは大事」と評価. Yahoo! JAPAN ニュース. 2022-08-03, Yahoo! JAPAN ニュース, <https://news.yahoo.co.jp/articles/408a448f60d3c876757d5ef901df59257ec6bebd>, (参照 2022-11-03)
7. 旧統一教会と政治 見過ごされてきた関係. NHK. 2022-08-29, NHK クローズアップ現代, <https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4695/>, (参照

2022-10-01)

8. 旧統一教会と政治家との関係続々と 選挙に協力した宗教 2 世. NHK.
2022-08-05, NHK 政治マガジン,
<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/feature/87247.html>, (参 照
2022-10-01)

・ Appendix

	得票率		
	Model 1	Model 2	Model 3
旧統一教会関係者	18.85 ^{***} (2.02)	4.57 ^{***} (1.18)	7.92 ^{***} (1.85)
立候補者数		-4.53 ^{***} (0.39)	-4.50 ^{***} (0.39)
当選回数		1.84 ^{***} (0.18)	1.98 ^{***} (0.19)
年齢		-0.23 ^{***} (0.04)	-0.24 ^{***} (0.04)
現職		2.22 ^{***} (0.71)	2.11 ^{***} (0.71)
自民党ダミー		22.38 ^{***} (1.52)	21.98 ^{***} (1.52)
N党ダミー		-15.08 ^{***} (2.35)	-14.97 ^{***} (2.35)
れいわダミー		-6.00 [*] (3.19)	-5.91 [*] (3.18)
日本維新の会ダミー		4.83 ^{***} (1.60)	4.70 ^{***} (1.60)
共産党ダミー		-4.35 ^{***} (1.57)	-4.24 ^{***} (1.57)
公明党ダミー		22.95 ^{***} (3.71)	22.95 ^{***} (3.70)
国民民主党ダミー		11.72 ^{***} (2.56)	11.72 ^{***} (2.56)
社民党ダミー		4.28 (3.64)	4.43 (3.63)
諸派ダミー		-8.04 ^{**} (3.62)	-7.99 ^{**} (3.61)
立憲民主党ダミー		14.42 ^{***} (1.47)	14.44 ^{***} (1.46)
旧統一教会×当選回数			-0.96 ^{**} (0.41)
Constant	31.52 ^{***} (0.69)	44.62 ^{***} (2.91)	44.49 ^{***} (2.90)
N	857	857	857
R-squared	0.09	0.74	0.74
Adj. R-squared	0.09	0.73	0.74
Residual Std. Error	19.00 (df = 855)	10.28 (df = 841)	10.25 (df = 840)
F Statistic	86.91 ^{***} (df = 1; 855)	158.34 ^{***} (df = 15; 841)	149.57 ^{***} (df = 16; 840)

$p < .01$; $p < .05$; $p < .1$

表 2：重回帰分析結果

《注》

¹ 4 政党とは「立憲民主党」、「公明党」、「国民民主党」、「日本維新の会」を示す。

² 「立憲民主党」リスト全体では 16 名と公表されているが、やや日刊カルト新聞での調査は自己申告が多く真偽が不透明なため、立憲民主党調査結果のみデータに使用した。「日本維新の会」は維新の会調査結果が掲載されていた Yahoo!新聞から引用。「国民民主党」は朝日新聞記事より引用し、玉木雄一郎議員が過去に献金を受けていたことからデータに含めた。「公明党」は衆議院議員で公表された議員は 2 名だが、選挙区から出馬していない 1 名は含めていない。

³ NHK 政治マガジンとは、政治の舞台裏やエピソードなどを提供しているメディアである。

<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/feature/87247.html> (参照 2022-10-01)

⁴ データをもとに著者が作成

⁵ 政党は全部で 11 個あるが、分析を行う際に無所属を基準にしてデータを作成したため、ここでは 10 個の政党ダミーが示されている。